



議会だより いせん

第59号

発行 伊仙町議会

〒891-8293

大島郡伊仙町伊仙1842

事務局 ☎ (0997) 86-3111

編集 議会広報編集委員会

印刷 有菴美新生社印刷



平成30年7月29日
第32回伊仙町ほーらい祭 面縄港特設会場

平成30年第2回伊仙町議会臨時会（6月12～15日）全議案

議案等	事項	備考
陳情第2号	生産性向上特別措置法に基づく導入促進基本計画の策定及び固定資産税の特例措置について	採 択
陳情第3号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元、複式学級の解消を図るための、2019年度政府予算に係る陳情書採択の要望について	採 択
報告第1号	平成29年度伊仙町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告	報 告
報告第2号	平成29年度伊仙町簡易水道特別会計繰越明許費繰越計算書の報告	報 告
同意第6号	伊仙町監査委員の選任	同 意
議案第27号	平成30年度伊仙町水槽付ポンプ自動車購入事業購入契約	可 決
議案第28号	伊仙町辺地総合計画の一部変更	原案可決
議案第29号	徳之島交流ひろば「ほーらい館」の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第30号	伊仙町報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第31号	伊仙町公共施設総合管理基金条例の制定	原案可決
議案第32号	伊仙町乳幼児医療費助成条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第33号	伊仙町町営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第34号	伊仙町定住促進住宅条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第35号	伊仙町長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第36号	平成30年度伊仙町一般会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第37号	平成30年度伊仙町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第38号	平成30年度伊仙町介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第39号	平成30年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第40号	平成30年度伊仙町簡易水道特別会計補正予算（第1号）	原案可決
発議第2号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	原案可決

追加議案

議案第41号	徳之島交流ひろば「農林水産物直売所」の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
以下余白		

平成30年 第2回定例会

一般質問



清 平二議員

人材育成について

問

今後職員が安心して働けていけるのか。平成30年度より若い臨時職員で解雇された方々がいるのかどうか。

答

(総務課長) 「6か月を超えない期間で臨時的な任用を行う」と地方公務員法で規定されており、解雇という意味合いではなく、臨時職の場合においては、その期間

内が変わっていく、という事です。

要望
若い臨時職員

も安心して子育てが出来るような

職場づくりに期待します。6月4日付の南海日日新聞の一節に「職員従業員と同じ目線に立ち、真心に接して人を動かすことが重要である。そこから得られた絆が広がることで、経済面で大きな力になると悟っています。」と掲載されていました。これを参考にし職員と執行部が邁進される事を期待します。



問

各種契約など、法令に基づき適正に行われているのか問う。

答

(町長) 全職員が行財政改革する覚悟で取り組んでまいります。また、全ての町民が主役のまちづくりと宣言していますので、そういった形での公平公正さを貫いていきたいと考えています。

問

随意契約について伺う。

答

(副町長) 工事、製造の請負は130万円以下、財産の借入れ80万円、物件の借入れ40万円、財産の売払いと物件の貸付け35万円、それ以外については50万円以下の事業等については随意契約ができる事となっています。

答

平成30年度予算執行において、

教育行政について

問

前回の一般質問において、教職員からの学校施設や設備、教材等についての



牧本 和英議員

答

(教育長) 学校施設、教育環境の改善について、電子黒板の配備を進めている

要望がないかを問いましたが、その後の状況を伺う。

問

安易な随意契約が見受けられるかどうか問う。

(副町長) 工期の短縮、経費の削減、特殊な技術や機械設備等については、随意契約という事になります。

要望

是非、安易な随意契約ではなく、入札制度で経費削減を図り、透明性と解りやすい行財政改革を実行して下さい。

状況です。電子黒板は、教育効果が高く、非常に高価な機器であり、準備に時間を要しましたが、7月上旬より順次各学校に導入ができる見通しとなっています。また、その他の事業についても、今後準備が整い次第、各学校へ導入していきます。



各学校へ導入が進められている電子黒板

問

小学校から外国語教育が必修科目となつていますが、伊仙町では現在何名のALTが在籍しているのか問う。

答

(教育長) ALTは現在のALT以外に、今年度から英語学習支援員ということで

1名配置しています。

問

ALTを増やすと、それだけの経費がかかると思いませんか。2014年7月に発売された人型ロボット「NAO」、価格としては130万程、現在福岡県の小学校でALTの助手として、3・4年生の授業に取り入れられているとの事です。ALTの採用には、月々の給与、渡航費、保険料等もかかり、1人当たり

答

(教育長) 鹿児島県内の

学校ではまだ導入されていません。また、ロボットで授業を行うのはどうだろうかと思っています。現在、伊仙町で取組んでいる学力向上プログラムですが、今年度からITの授業に力を入れ、電子黒板を利用した授業をすると、ロボット以上に教育効果が得られるということです。今後IT授業に力を入れていきたいと考えています。

徳之島自動車学校について

問

年々生徒数の減少により経営が厳しい状態となっているが、今後3町での早

急な対応が必要と思われるが町の考えを伺う。

答

(町長) この件に関して、現時点で具体的に町の方に要請はございません。今後、何らかのアクションがあれば、3町で協議し対応をしていかなければならないと考えております。

職員研修について

問

町職員の研修は適切になされているのか問う。

答

(町長) 町の行政においては、人材こそが力で



福留 達也議員

問

県市町村自治研修センター主催の研修への参加状況はどうか問う。

答

(総務課長) 市町村自治研修センターより、こ

※その他「松くい虫被害について」、「農業振興について」、「バレイショ一時保管庫の設置について」の一般質問をいたしました。質問—答弁内容の詳細につきましては、YOUTUBE、伊仙町議会チャンネルにて今定例会の動画が保存されておりますので、是非ご覧ください。町民参加の議会づくりのために、宜しく願いたいします。

ありますので、採用後に順次、勤務年数や能力、ポストにに応じて研修に参加させなければなりません。が、必ずしも適切になされているとは言いえない現状です。

こ数年間、徳之島町と伊仙町が全く参加できていないとの報告がありました。職員研修は大変重要なことでありますので、今後は財政状況を考慮しつつ努力して参ります。

(町長) 県主催の研修会への参加は確かに少ない状況ではありますが、それ以外の、例えば内閣府や大島支庁への職員派遣は、他の自治体に抜きん出ており、また派遣した職員も我々がびつくりする位の成長をしているのも事実であります。これは伊仙町と国あるいは県との信頼関係の中で築いていくわけでありますので、今後ともそのような方向でしっかりと開拓していくことが大事だと考えております。

問 民間企業への出向による研修は行っているのか。

答 **(総務課長)** 20年程前までは、城山観光ホテルやタイセイホテル等において接客マナーの研修が行われていました。最近では沖縄県にある南西活性化センターにお

いての研修が行われています。今後も民間企業での研修機会がありましたら積極的に参加させていきたいと考えております。

要望 国や県への職員派遣も大切ではありますが、実務研修もそれに劣らず大事なことであります。採用直後の新人職員、中間管理職、課長等、それぞれの段階において必要とされる研修があり、参加することにより、公務員としての規範意識や、全体の



役場職員研修会の様子

奉仕者としての心構えを思い起こすことのできる機会ともなります。財政事情等もあるでしょうけれど、今後とも計画的な職員研修を行うよう要望します。

懲戒処分のあるかたについて
問 職員による不祥事や不手際が生じた場合に、どのような根拠に基づき処理しているのか問う。

答 **(総務課長)** 伊仙町職員の分限や懲戒に関する条例、更に交通違反に関しては処分基準表に基づき処理を行っています。しかしその他の不祥事に関しては懲戒処分の設定はされておらず、前例、判例、同一他市町村の事例等を参考に処理を行っています。

問 人事院が示している標準例を参考に、それぞれの自治

体において独自の指針や基準を設けて処理すべきだと考えます。同じ不祥事であっても故意や過失の有無、あるいは管理監督の地位の有無、これらの有無によって懲罰内容が変わってくるものだと思うが、それ故にきちんとした基準を設定した上での処分でなければ、その時々懲罰委員会の恣意的な判断に流されてしまうようなことがないか問う。

答 **(副町長)** 現在取組んでいることにおいても、町の過去の事例、そして他市町村においての同様の事案の前

例を踏まえて懲戒を決定しているわけでありますので、大きく逸脱するような処分を行っているとは思っておりません。しかしながら議員が指摘するように処分内容がその都度変わることはないよう今後は基準を設け、それに沿った形で対応して参りたいと思います。

その他、役場内における指揮命令系統のありかた、世界自然遺産登録、農業政策等についての質問を行いました。紙面の都合上割愛させていただきます。



西彦二議員

作物は多大な被害を受け、価格は下落し、農家にとっては大変厳しい製糖期となったが、町としてどのような支援対策を考えているのか問う。

問 昨年10月の台風により、さとうきび等の農

答 **(経済課長)** さとうきび増産基金事業「セーフ

農業政策について

ティーネット事業」を発動しました。町としても本事業を活用し、株出し、新植の春植えに対して肥料や除草剤等の助成を行い、農家の意欲低下の防止と単収向上に努めてまいります。また、ビレットプラントターの普及拡大をし、高齢者や人手不足にかかわる体制拡大の支援も行っていきます。

園芸振興について

問

今期のバレイショ手取り価格も、これまでになく下落し生産農家は赤字経営を余儀なくされ大変困惑しています。今後の対策を問う。

答

(経済課長) 価格暴落により、農協経済連を通じて、対象市場群に出荷されたバレイショについては、県単の野菜価格安定制度が発動され、バレイショ農家の経営安定を図ることとなりました。生産量の増加により農家への補給率は十分ではないと考えております。価格安定制度に加入するには共販率の要件を満たさないと加入できないとの事で

あり、今後農家への周知をしてまいりたいと思います。

(町長)

国会議員の先生方が来島された際に、今後自由化が進めば、このような安定化基金やセーフティーネットをしっかりと打ち出して行かなければ、日本の農業は厳しくなっていくだろう、という話でしたので、今後3町ないし、郡内全域含めて同じような形で進めていくことが重要であると考えています。

問

農業支援センター「青緑の里」について、どのような活動を行っているのか伺う。

答

(経済課長) 現在、第1期の研修生を募集している状況で、研修期間は1年間で、農業の基礎を学んで頂きたいと考えております。今年度は3名の

募集をしており、まずはバレイショや野菜の苗、メロン、パッション、マンゴー等の栽培計画を作成しております。

問

農高跡地「義名山農場」について伺う。

答

(経済課長) 義名山の圃場については、現在耕作放棄地のような状況になっております。調査の結果、境



旧農高「義名山農場」跡地

界等で一部整合性がとれていない部分がありますので、今後町単事業を利用し、調査を行い県からの払い下げを考え整備を進めてまいりたいと思います。

(町長)

県としては、義名山農場を早く町に譲渡したいとの話がきていますので、今後県と交渉しながら結論を出していきたいと思います。



佐田 元議員

を聴取し、国の交付金に關しまして、どうにか回収を目指し最後まで努力していくことは重要であると思っております。また、入札に關しては、適正であつたと思つています。

問

平成28年度多世代交流施設機能拡張事業における備品購入での入札は適正であつたか問う。

答

(町長) このことは本町に伊仙町政の中で重要な問題であり、大変な失態であつたと私は反省をしております。今後、この件に關わつた方々に関し、より深く事情

問

入札は適正であつたということだが、私は納入期限がこの事案の發生に繋がつたのではないかと思ふ。平成28年12月議會において予算が認められたにも関わらず3か月経過後の29年3月10日に指名委員會が開催されている。この時期に指名委員會を開催することが、著しく適正を欠いていたのではないかと思われ

るが、この件に関し、指名委員長である副町長に伺う。

答 (副町長) 指名の時期

工事発注の時期が適正であったかということに関しては、年度末が押し迫っていたので、ベストであるとは言えなかったけれども、ベターであったと思っていますところです。

問 このような重大な事案を職員任せにしている

のですか。資料の確認など教育長は確認されていないのか伺う。

答 (教育長) この事案について

は、いつ指名委員会が行われ、いつ備品購入が入っているのか分かりませんでした。

問 指名委員会の構成と入札の参加資格申請の締

切り期限はいつか伺う。

答 (副町長) 指名推薦協議

委員会、副町長、総務課長、未来創生課長、建設課長、耕地課長、経済課長

そして担当課長を含めて行われています。また、参加資格申請の締切り期限は2月末となっております。

意図的な情報隠しがあったか

問 関係書類の提出を求めた時点では、無いとの

ことだったが、3月はじめに機の引き出しから出てきたことと自身が信じられないし、約3か月間この書類が無いまま事務処理をしていたというところが疑問に思う。この書類はどのような書類だったのか伺う。

答 (社会教育課長) 本事業

の書類が確認できなかったため、課内職員や元担当者を含め探しましたが見つからず、2月14日に無いとの回答をいたしました。その後3月に発見されたということは事実です。

問

監査委員の出納検査結果として未納の事実を知らされているにもかかわらず、議会や町民への説明責任を果たされないままにしている執行部や町3役の対応を踏まえると、意図的に情報隠し、組織ぐるみで隠蔽工作をしたのではないか。

答 (町長)

担当課、執行部を含め、意図的に隠蔽したという事は全くありえない話です。

問

6月、9月、12月議会において、なぜ報告しなかったのか伺う。

答 (町長)

本人が必ず資金調達して納入するということは何回も確約した中で、そのことを期待していたという事です。

問

契約書によれば、納入期限までに納入できなかった場合は、変更ができるとなっているが、なぜそのような措置をとらなかったのか。

答 (町長)

私の中でそれについての認識がなく、

町の損害の範囲と額は

問 本事業に関しての、損害の範囲と額はどの

なっているのか伺う。

答 (総務課長)

現時点では、損害の範囲、金額の詳細については、まだ確定されていない状況です。

問

離島漁業再生

岡林 剛也議員



平成29年度離島漁業再生支援交付金の不適正な支出について

縄・鹿浦・前泊地区をまとめて「伊仙町地区漁業集落」と

(町内では、面

る人々の集落

支援交付金とは、本土に比べ離島であることにより不利な条件下にある離島で漁業に従事する人々の集落

総称) に対して、国・県・市町村が補助金を出し、その活動(サメ駆除、オニヒトデ駆除、魚礁、密漁監視、魚祭り開催等)を支援するものであるが、平成29年度は合計811万2千円で事業が執行されています。しかしながら、本事業においても「平成28年度社会教育課備品購入事業」と同様な不適正な予算執行が行われているというが、その事についての詳細な説明を伺う。

答 (経済課長) 平成29年10月の漁業集落役員会

において、各種イベントで利用できるガス釜セット(3セット)を購入する事となり、実績のあるA社へ発注したところ、「先に入金しないと現物が来ない」という事で、平成29年11月15日に現金83万7600円を支払ったが品物が納入されなかったという事です。

問 品物が納品される前に、役場が代金を支払ってしまい、未だ納入されていないことは社会教

育課の備品未納問題と全く同様の事案ということになるが、原因究明のための調査・検証はなされているのか。

答 (経済課長) 納入して

もらいうような話は何度もしていますが、検証はしていません。

問 普通の自治体であれば調査・検証委員会を立ち上げると思われるが、町としてそのような考えはないか問う。

答 (町長) 国・県の指導

を受けながらどういう方向性で行くか相談しながらやっていますが、検証委員会を設置するかについては、当然すべきだと思っています。

問 この件は漁業集落に落ち度はなく、むしろ町が(社会教育課)備品未納問題

が起きた時点で、課長会等において周知していれば起きなかつた問題であると考えられるが、どうか問う。

答 (副町長) ご指摘の通り、社教備品問題発覚

時点の段階で検証委員会を立ち上げていれば防げた事案かもしれませんが、同じような事がその後の起きたということとは、我々執行部、上層部の指導不足という事になるかと思っているところです。

問 今回の件に関して、誰が責任を取るべきだと考えているのか問う。

答 (副町長) まだ、きちんとした現状の把握が

足りていないというところ、今、誰の責任云々という事は申し上げられません。

問 今後、業者(A社)に対し損害賠償や財産差押え、場合によっては刑事告発も必要ではないかと思われるがどうか問う。

答 (町長) この業者(A社)に関して、私はかなり

厳しい対応をやつてまいりました

が、この問題が出てきてからは全くの音信不通になっていきます。これは明らかに悪質な問題でありますので、それに対応するよう行政として毅然とやっけていきたいと思っています。

問 これだけ不祥事が続出すると、町民の方々に

対する説明責任が生じるのではないか。住民説明会等を開催する考えはないか問う。

答 (町長) この件について

では、まだ進行中のこともありますので、明確になった時には、どういう形で説明していくか、広報誌等で出すのか、その辺も検討してまいりたいと思います。

《追記》

本事業については、他にもサメ・オニヒトデ駆除事業の実績に疑義があると県から指摘を受け、「一般質問で追及されたことも踏まえて事業費返還を視野に対応を検討していく方針」と7月11日付の新聞で報道され、平成30年度の事業申請ができない状況となっており、今後も経緯を注視していく必要があります。



伊仙町地区漁業集落 (大漁祭り)

平成30年度 総務文教厚生常任委員会県外視察研修

～鹿児島県志布志市～

視察年月日…平成30年7月27日(金) 目的…先進地の取組みの調査及び研修

視察者…岡林委員長・美島委員・福岡委員・明石委員・清委員・佐田委員・牧本委員(随行者 穂局長)

《視察内容》

1 「農業公社における研修制度について」

ピーマンの栽培面積と部会員数がピーク時の昭和52年は22・5haで100名だったのが、平成2年には7・5haで38名に減少したため、農業後継者及び新規就農者の確保を目的に平成8年に農業公社を設立し、現在では23・7haで87名まで増加し鹿児島県の平成28年度出荷量が全国3位となり、ブランドが確立している。

志布志市と管内JAにより、毎年負担金を出し15名の職員で農業後継者育成の他に農地集積・農作業受委託・農業機械貸付を行っている。

研修品目は施設ピーマンで、期間は2年間。3年目には独立し、公社からの農地の幹旋、青年就農交付金を活用し、補助事業によるハウス建設、農機具の購入等を行って

いくとのことでした。

現在、ピーマン部会員は既存農家よりも公社卒業生が多くなり平均年齢も48歳と若返っている状況であるそうので、今後も引き続き後継者育成・新規就農者育成に全力で取り組んでいくとともに、新規作物の導入も進めていくとのことでした。

2 「ゴミのリサイクルについて」

平成2年に3市町村で広域事務組合を設立し、清掃センター埋め立て容量72万立方メートルを建設したが、ゴミの量が多く平成16年には一杯になることから、平成12年より19品目の分別回収を開始。

また、生ゴミも平成16年から分別収集し、埋め立てゴミが計画の8割減となった。当初は分別の徹底に時間がかかったが、説明会等での周知徹底により2年程度で目標達成することができ、今後は紙おむつの再資源化を図り更なるゴミ減量を目指していくとのことでした。



関西伊仙町連合会50周年 記念総会・祝賀会

平成30年7月29日(日) 大阪市都島区(場所…太閤園)にて、県外視察研修に引き続き、関西伊仙町連合会50周年記念総会及び祝賀会へ参加させていただきました。当日は台風12号の影響が心配される中でしたが、予定通り開催することができ、総会から祝賀会まで約300人の出席者があり、盛大に挙行されました。



知事との意見交換会が開催！

去る8月10日（金）に三反園訓鹿児島県知事をはじめ、松本大島支庁長、瀬戸口徳之島事務所長、北園広報課長御一行が来町され、ほーらい館において大久保町長、伊仙町議会議員14名との意見交換会が行われました。

はじめに、三反園知事より挨拶と県政全般についての説明があり、続いて美島議長より「主要地方道伊仙亀津徳之島空港線（伊仙工区）道路整備について」の要望書を手渡されました。その後各議員より教育政策、農業支援政策、世界自然遺産登録についてなど、さまざまな地域課題や県政への要望を知事へ訴え、活発な意見交換が行われました。





中伊仙集落青年団の皆さん

中伊仙集落青年団長の杉山晃樹さん（37）を中心に同集落に住む20～40代の約15～20名のメンバーで活動しています。

主な活動としては、毎月のクリーン作戦、十五夜祭り、中伊仙集落運動会など。とくに運動会は、約30年の歴史ある集落行事であり、大具・朝戸具チーム、向堂チーム、古志与仁チームと集落内で3つのチーム編成をし、毎年、老若男女が一体となり同集落の一大イベントとなっている。

問.伊仙町に暮らして思うことは

自分が生まれ育った環境で、同じように子ども達を育てる事はとても安心して育てられるし、時には親や親戚、友人や集落の方々のサポートがあるのですごく助かっています。

問.今後の伊仙町へ期待する事は

私自身、6人の子育て真っ最中であり、やはり「長寿と子宝のまち」として、子育て支援、教育の充実にも力を入れて頂きたい。また集落の青年団長として活動していますが、同集落は年々若い世代が減少傾向であり、今後の集落活性化のためには、元気な若い世代の方々が必要不可欠だと思います。

是非とも中伊仙集落への「住宅建設」をお願いします！

次回の定例会は9月です！！

次回の定例会（第3回）は9月11日（火）からを予定しています。

ネット配信も行なっておりますが、ぜひ、生の議会を傍聴してみませんか。

手続きは簡単で、議会の当日に傍聴席入り口の受付名簿に、住所、氏名を記入していただくだけです。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

電話番号86-3111（内線16番）

徳之島3カ町議会議員連絡協議会における奉仕作業

去る7月1日（日）に開催されました、「第31回トライアスロンIN徳之島大会」を前に、大会会場となる天城町B&G海洋センターにおいて、6月25日（月）清掃作業を行いました。



議会の動き

平成30年第2回伊仙町議会定例会における諸般の報告（議長の動静）
動静期間：平成30年第1回定例会（3月20日）以降の分

月	日	行事名	場所
3月	22日	異動教職員送別会	ほーらい館
4月	3日	徳之島3カ町議会議員連絡協議会ボランティア作業	犬田布岬
	6日	小学校入学式	
	7日	戦艦大和慰霊祭	犬田布岬
		管理職教職員歓迎会	中央公民館
	9日	樟南第二高校入学式	
	12日	議長・事務局長合同会	奄美市
	14日	教職員歓迎会	ほーらい館
	16日	議会運営協議会・全員協議会	議会委員会室
	18日	福岡県広川町議会視察対応	中央公民館
	23日	平成30年第2回臨時会	
	24日	徳之島世界自然遺産について語る会	天城町役場
		徳之島地区防犯組合連絡協議会会計監査	徳之島警察署
	25日	高知県梶原町議会視察対応	
	26日	県政説明会	県庁
	29日	海開き	瀬田海公園

月	日	行事名	場所
5月	1日	公明党離島振興対策本部視察懇談会	徳之島町
	2日	公明党離島振興対策本部視察対応	徳之島町
	4日	泉重千代翁33回忌祭	
	8日	離島振興市町村議会議長会研修会	鹿児島市
	9日	県町村議会議員研修会	鹿児島市
	13日	世界自然遺産講演会	徳之島町
	15日	喜界町議会視察対応	かんかんファーム
	16日	奄美群島市町村議会議員大会	徳之島町
	17日	富山県氷見市議会視察対応	中央公民館
	18日	伊仙町商工会通常総会	中央公民館
	22日	大島郡各協議会総会	奄美市
	24日	光市議会視察対応	ほーらい館
		徳之島地区防犯組合連絡協議会総会	徳之島警察署
	25日	徳之島建設業協会懇談会	徳之島町
	26日	地域女性団体連絡協議会総会	中央公民館
6月	28日	全国町村議会議長会正副議長研修会	東京
	7日	議会運営協議会・全員協議会	議会委員会室
	12日	平成30年第2回定例会開会	

※ 掲載されている行事以外にも、各種協議会及び集落行事等にも出席しておりますが、予めご了承下さい。

編集後記

残暑お見舞い申し上げます。
お盆を過ぎ、朝夕はすいぶん過ごしやすくなりつつありますが、町民の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

今年の夏は猛暑、酷暑と言われるように、日中の最高気温が40度を超える地域が続出したり、豪雨による災害や熱中症による救急搬送のニュースが連日放映され、更には台風の影響で7月の後半から8月にかけては、ほぼ毎週のように台風が発しています。8月12日に台風15号が発生し、その後16日の19号発生まで5日間連続での発生は統計開始以来初めてのことであります。まさに異常気象ともいえる夏でありました。

幸いなことにまだ町内においては台風の直撃による大きな被害が出てはいませんが、出張や研修が延期になったり、夏祭りの開催が危ぶまれたり、予定を狂わされたりヒヤヒヤして過ごされた方が大勢いたのではないかと考えられます。

農業に携わる方の多い伊仙町においては台風の予想進路や接近日時を正確に把握して様々な対策を講じ、家屋や農作物への被害を最小限度に抑えています。

今後も台風接近などによる災害の発生が予測されますので、家屋や農作物のみではなく、倒木や土砂崩れ、河川の氾濫、高潮等々、想定される危険に対しては、万全の備えを行うと同時に、体調管理にも十分配慮され、まだまだ続く厳しい残暑を乗り越えられますようお願い申し上げます。

（文責 福留 達也）

議会広報編集委員会

委員長 前 徹志
副委員長 杉山 肇
委員 福留 達也
委員 上木 千恵造
委員 佐田 元